

欧州特許庁と日本国特許庁，日本語 - 英語間の機械翻訳サービスの提供を開始

2013 年 6 月 6 日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は，6月5日，同庁と日本国特許庁（JPO）とが，EPOの無料機械翻訳サービスである「Patent Translate」上で，日本語 - 英語間の機械翻訳サービスの提供を開始した旨，同日にプレスリリースを行った。

EPO と JPO とは，昨年 2 月に，機械翻訳ツールの提供に向けた協力を行っていくことに合意していた。本プレスリリースは，このサービスの提供の開始によって，EPO のグローバル特許文献データベースである「Espacenet」を通じて入手可能となっている百万件以上の日本語特許文献が，今やマウスをクリックするだけで，無料で簡単に英語に翻訳できるようになったと報じている。また，このサービスによって，日本の発明者が欧州特許文献を日本語で読むことができることとなり，フルテキスト版の日本語特許文献へのアクセスが提供されることになるとも，本プレスリリースは伝えている。

本プレスリリースによれば，Patent Translate は，2014 年までに，欧州特許機構の 38 の加盟国の 28 の公式言語に加え，最重要ないくつかのアジア言語についても，特許文献の機械翻訳を可能とするために立ち上げられ，2012 年 2 月にリリースされ，Espacenet データベースに統合されたものであり，今般の日本語の追加によって，中国語を含む 15 言語について，英語との間での特許文献の無料即時翻訳（free on-the-fly-translation）が可能となった。このサービスは，世界で最も包括的な特許文献のための多言語プラットフォームであり，Espacenet は既に世界の 8 千万件の特許文献を収集していると，本プレスリリースは強調する。

本プレスリリースによれば，同日に米国カリフォルニア州クパチーノで開催された五大特許庁長官会合の機会に合わせて催された JPO との長官会合にて，バティステリ EPO 長官は，以下のとおりコメントした。

「日本語 - 英語間の機械翻訳ツールの提供開始は，特許情報のための大きな前進である。日本語は技術に関する一流の言語の一つであって，多くの科学的知識，いわゆる「先行技術」は，日本語の特許文献中に存在しているところ，それらが今や世界中の技術者，発明者，科学者に自由に英語で入手可能となっている。これは，欧州企業が，自身の特許出願の内容をさらに改善しつつ，日本語特許文献を検索することによって，自身の研究開発をさらに適切に実施していくことができるところ，それら企業の競争力をさらに強化することとなる。各特許庁もまた，日々の業務においてこのサービスを利用することができる。これは特許付与のプロセスの品質に対してプラスの効果を及ぼすであろう。欧州経済全体として高品質の特許から利益を享受することになる。」

さらに本プレスリリースは、深野 JPO 長官が以下のとおり発言したとも報じている。

「JPO 及び他の特許庁にグローバルに出願されている特許出願の数については、JPO は世界のリード庁の一つとして位置づけられるところ、日本語特許文献の重要性は高い。加えて、日本企業がビジネスを拡大するに当たり目指している方向にかんがみれば、我が国企業において急速な国際化が大きく進展していることが分かる。欧州市場は我が国にとって最も重要な市場の一つであり、これまで、JPO は、日本企業が海外市場に進出する際に、言語障壁を打ち破ることで企業をサポートすべく、特許文献の機械翻訳の利用を可能とするなどの幅広い取り組みを行ってきた。今般の新しいサービスを通じて、ユーザーが欧州特許文献を日本語で参照可能となる場所、このサービスは欧州言語と非欧州言語との間の架け橋となる。これは、日本のユーザーに利益と価値の両方をもたらすこととなる。知的財産の国際化の進展に伴い、言語障壁が挑戦的かつ積年の課題となってきた。今後 JPO は、EPO と JPO との間の相互協力のような国際協力を通じて、欧州、日本、そして世界の他の地域のユーザーに多大な利益をもたらすべく、しっかりと貢献していく所存である。」

「今般の日本語文献の追加は、30 年以上前から続いている EPO と JPO との間の緊密な協力活動の最新の成果であり、1983 年、両庁は米国特許商標庁 (USPTO) とともに、当時における世界の三大特許庁として、自動化に関する共通の諸問題の解決策を検討するために三極協力 (Trilateral Cooperation) を立ち上げたところ、30 年が経過し、この協力が強化され、今や、資料、データ標準、特許情報等の分野にも及んでいる」と、本プレスリリースは結んでいる。

— EPO による本プレスリリースは、以下参照 —

[Japanese-English machine translation for patents goes live](#)

— EPO と JPO との英語 - 日本語間の機械翻訳の協力についての合意に関する欧州知的財産ニュースは、それぞれ以下参照 —

[欧州特許庁、日本国特許庁と機械翻訳ツールの提供に向けた協力を合意 \(2012 年 2 月 6 日\) \(PDF\)](#)

— EPO の機械翻訳ツール「Patent Translate」に関する最近のプレスリリースに関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州特許庁と中国国家知識産権局、中国語 - 英語間の機械翻訳サービスを開始 \(2012 年 12 月 7 日\) \(PDF\)](#)

[欧州特許庁、新たに 7 言語の機械翻訳サービスを提供開始 \(2012 年 10 月 28 日\) \(PDF\)](#)

(以上)